

だい じ おきなわ し しょう しゃ
第5次沖縄市障がい者プラン

おきなわ し しょうがい しゃ けいかく おきなわ し しょうがい ふくし けいかく おきなわ し しょうがい じ ふくし けいかく
～沖縄市障害者計画・沖縄市障害福祉計画・沖縄市障害児福祉計画～

ばん
わかりやすい版



れいわ ねん がつ
令和3年3月
おきなわ し
沖縄市

だい じ おきなわししょう しゃ 第5次沖縄市 障がい者プランとは

おきなわし おこな しょう がい の ある ひと しえん てだす いろいろ せいど しく
沖縄市で行っている障がいのある人を支援（手助け）するための色々な制度（仕組み）
やサービスについてまとめた計画（けいかく）のことで、

そうだん かん がっこう の こと や ふくし サービス、あんしん しく てだす はたら ため の 支援（手助け）（しえん てだす） の こと など も 書いて あります。

きほんりねん けいかく もっと だいじ 基本理念（計画で最も大事にすること）

わたし だれ にんげん けんり そんちよう じょうたい あんしん しく
私たちが誰もが、人間としての権利が尊重されていない状態では、安心して暮らしてい
くことはできません。あんしん う あそ まな はたら やす かんきょう かぞく
安心して生まれ、遊び、学び、働き、休むことができる環境、家族
ゆうじん と の つながり など、め み め み ふく だれ ささ へ
や友人とのつながりなど、目に見えるものから目に見えないものを含め、誰かに支えられ
つ ほか だれ ささ せいかつ
つ他の誰かを支えながら生活しています。

しょう がい がある ひと、しょう がい の ない ひと くら 多く の てだす じょうたい おう はいりよ
障がいがある人は、障がいのない人と比べて、より多くの手助けや状態に応じた配慮
が ひつよう になる 場合 が 少なく あります。だから といって、しょう がい の ある ひと とくべつ
が必要になる場合が少なからずあります。だからといって、障がいのある人が特別なわけ
では ありませんし、ぎゃく しょう がい の ない ひと とくべつ
逆に障がいのない人が特別でもありません。

わたし たが かんけいせい なか あ ささ あ しく
私たちはみな、互いの関係性の中でかかわり合い、支え合って暮らしています。しょう
がい がある こと によって、く ならし の 中 で、さべつ い かん ちから
障がいがあることによって、暮らしの中で、差別や生きづらさなどを感じるのであれば、力を
あわせて 変えて いか なければ なりません。

ひと ひとり ちが ぜんてい たが みと あ たが そんちよう しく
人は一人ひとり違いがあることを前提に、互いを認め合い、互いに尊重しあって暮らす
こと が できる おきなわし め ざ
ことができる沖縄市を目指します。

きほんりねん 〈基本理念〉

しょう がい の 有無にかかわらず、じんけん そんちよう
障がいの有無にかかわらず、人権を尊重し、

だれもが あんしん しく ふくしぶんか
だれもが安心して暮らせる福祉文化のまち

けいかく きほんもくひょう けいかく めざ しゃかい すがた 計画の基本目標（計画で目指す社会の姿）

1 とも ささ あ しゃかい じつげん 共に支え合う社会の実現

悩み事や障がいのある人それぞれの支援（手助け）してほしいことに対応できる相談の充実、市役所からのお知らせや生活に関する情報の充実に努めます。

障がいに対する正しい理解をひろめ、障がいを理由にした差別や虐待（無視やいじめなど）をなくす取り組みを進めます。

事項	令和3年度 2021年度	令和4年度 2022年度	令和5年度 2023年度	
ピアサポートの活動	相談件数	996	1,046	1,098
「ハートフル福祉フェア」の活動	開催回数	1	1	1
	参加団体数	70	74	78

2 あんしん かいてき く とも まな かつどう しゃかい じつげん 安心・快適に暮らせ、共に学び活動できる社会の実現

障がいがあっても、できるだけ住みなれた地域で暮らすことができるように、住む場所、出かける場所（道路や建物など）を使いやすくします。

障がいのあるなしに関係なく、十分な教育をできるだけ一緒に受けられるようにします。また入所施設などにいる人が、施設を出て地域で暮らせるよう支援を充実します。

事項	令和3年度 2021年度	令和4年度 2022年度	令和5年度 2023年度	
特別支援教育巡回相談	相談件数	676	694	713
発達支援研修会の開催	回数	6	6	6

3 じりつ せいかつ しゃかいさんか じつげん 自立した生活と社会参加の実現

障がいのもとになる病気やけがを防ぐことができるような取り組みを進めます。障がいのある人が小さいときから大人（社会人）になるまで、支援（手助け）が受けられるように取り組みます。

障がいのある人が必要とする福祉サービスの充実と働くためのいろいろな支援（手助け）を行います。また障がいのある人がいろいろな文化芸術活動（絵を描く、演奏を聴くなど）やスポーツなどを楽しめるようにします。

事項	令和3年度 2021年度	令和4年度 2022年度	令和5年度 2023年度	
地域活動支援センター機能強化事業	実施数	4	5	5
	利用者数	302	367	403
障がい者就労の促進	会議等開催	2	3	4

1 とも ささ あ しゃかい じつげん 共に支え合う社会の実現



そうだん しえんたいせい じゅうじつ 相談支援体制の充実

- 障がいのある人の一人ひとりの状態に応じて、適切な支援を受けることができるように、相談できる体制の充実に取り組みます。
- 色々な関係者が集まる障がい者自立支援協議会を定期的に開催し、地域での困難事例等に柔軟に対応していきます。
- 医療的なケアが必要な子ども等が身近な地域において、成長に応じて適切な支援を受けることができる支援体制をつくります。

じょうほうていきょうどう じゅうじつ 情報提供等の充実

- 障がいのある・なしにかかわらず、すべての市民が必要な情報を受け取れるように、情報提供の充実に取り組みます。
- 聴覚障がいがある人でもやりとりがうまくいくように、手助けできる人を増やして、よりよい支援体制をつくります。



けんりようご すいしん 権利擁護の推進

- 契約やお金の管理、福祉サービスを利用するときに支援が必要になっても、権利が守られるように支援体制の充実に取り組みます。
- 誰からも差別や虐待（無視やいじめなど）をされることがないように、知識や考え方を広めて差別の解消に取り組みます。

ささ あ ところ はぐく けいはつ すいしん 支え合いの心を育む啓発の推進

- 障がいがある人への理解を深め、すべての市民が支え合いながら共に暮らしていくために、小・中学校での福祉教育やイベントを通じた交流を行います。
- 障がいがある人もない人も共に暮らしやすい社会をつくっていくために、その考え（条例）の内容を広めていきます。

2 安心・快適に暮らせ、共に学び活動できる社会の実現

人にやさしいまちづくり

- 公共施設、道路、公園などのバリアフリー化を進めていきます。また、住宅のバリアフリー化にも取り組みます。
- 障がいのある人が地域で暮らすことができるように住まいの確保の支援をします。
- 災害時に自分で避難することが困難でも、地域の人が支えてくれるような避難支援体制づくりをすすめます。
- 障がいのある人を犯罪（詐欺など）から守るために、相談対応や情報提供を行い防犯対策の充実に取り組みます。

保育、教育、療育等の充実

- 障がいのある・なしにかかわらず、みんなが共に教育を受けられる環境をつくり、学ぶことを支援する仕組みをつくりまします。
- 一人ひとりの特性にあった保育や教育を行い、子育てに関する相談・支援を行います。
- 発達の気になる子や支援が必要な子について、必要に応じて相談や情報提供を行い、適切な支援が受けられるようにします。

地域生活を支える体制の充実等

- 障がいのある人などが必要となる色々な関係機関同士をつなぎ、地域での暮らしを支える機能の充実に取り組みます。
- 色々な関係者が集まり、精神障がいがある人が地域で安心して暮らしていくための話し合いができる場をつくりまします。



3 自立した生活と社会参加の実現



疾病の予防並びに障がいへの早期対応

- 発達が気になる子の早期発見・早期支援に取り組みます。また、病院や学校の担当者が発達障がいについて適切な指導・助言ができるよう、研修会を行います。
- 病気による障がいを予防するため、市民の健康づくりを支援します。

日常を支える福祉サービスの充実と医療制度の周知

- 障がいのある人が地域で安心して生活ができるように、日常生活を支える福祉サービスの充実に取り組みます。
- 福祉サービスの質の向上のために、サービス事業所への指導や検査を行います。
- 適切な医療を受けて障がいの状態がよくなるように、医療機関の情報を提供します。
- 医療費助成が必要な人がきちんと利用できるように、広報紙やパンフレットを活用して制度の周知をしていきます。

雇用の拡大及び就労支援の充実

- 色々な関係者が集まって障がいのある人の働き方を考え、一人ひとりにあった働く場の確保に取り組みます。
- 障がいがあっても能力を十分発揮できるように、就労訓練などの支援をします。



社会へ参加する機会の充実

- 障がいのある人の社会参加の機会を充実するため、ヘルパーを派遣して外出支援を行います。
- 障がいのある人もスポーツや文化芸術活動を楽しむことができるように、環境づくりなどの支援をします。

第6期障害福祉計画及び第2期障害児福祉計画

障がいのある人の生活を支えるために、福祉サービスがどれくらい必要になるのか（サービスの利用時間など）、福祉サービスを増やすための考え方などをまとめた計画です。

1. 成果目標の設定（令和5年度末の目標）

(1) 施設入所者の地域生活への移行

地域生活で生活することができる入所施設の利用者が地域で暮らせるように、住まい（グループホーム）を増やすなどの取り組みを進めます。

事項	数値
令和元年度末（2019年度末）の入所施設にいる人数	197人
令和5年度末（2023年度末）の入所施設にいる人数	175人
入所施設にいる人数の変化	22人の減少
入所施設から出て地域で暮らし始める人数	3人

(2) 住み慣れた地域で自分らしい暮らしを支える仕組みづくり

精神障がいのある人の地域での暮らしを支える仕組みづくりに向け、保健、医療、福祉関係者で話し合う場を令和2年度（2020年度）中に設置します。

事項	令和3年度 2021年度	令和4年度 2022年度	令和5年度 2023年度
話し合う場の開催回数	4回	4回	4回
話し合いに参加する関係者の人数（1回あたり）	8人	8人	8人

(3) 地域生活支援拠点等の確保と機能の充実

相談や緊急時の対応等の必要な機能を備えた地域生活支援拠点（複数の機能が分担して機能を担う面的整備型）を令和2年度（2020年度）中の確保を目指します。

事項	令和3年度 2021年度	令和4年度 2022年度	令和5年度 2023年度
拠点機能の充実等について話し合う場の回数	1回	1回	1回

(4) 福祉施設から一般就労への移行等

おきなわしじりつしえんきょうぎかいしゅうろうぶかいたう しゅうろうしえんじぎょうしょ しえんりよく きょうか はか
 沖縄市自立支援協議会就労部会等とともに就労支援事業所の支援力の強化を図ります。
 れいわがんねんど ねんかんいっばんしゅうろういこうしゃすう (にん) の 1.32倍 (にん) を目標とします。

① 福祉施設から一般就労へ移行する人数

事項	数値
令和元年度(2019年度)に福祉施設から一般就労へ移行者数	37人
令和5年度(2023年度)に一般就労へ移行する目標人数	49人

② 「就労移行支援事業」から一般就労へ移行する人数

事項	数値
令和元年度(2019年度)に就労移行支援事業から一般就労へ移行者数	25人
令和5年度(2023年度)に一般就労へ移行する目標人数	33人

③ 「就労継続支援A型事業」から一般就労へ移行する人数

事項	数値
令和元年度(2019年度)に就労継続支援A型から一般就労へ移行者数	6人
令和5年度(2023年度)に一般就労へ移行する目標人数	8人

④ 「就労継続支援B型事業」から一般就労へ移行する人数

事項	数値
令和元年度(2019年度)に就労継続支援B型から一般就労へ移行者数	6人
令和5年度(2023年度)に一般就労へ移行する目標人数	8人

⑤ 「就労定着支援事業」の利用者数と事業所数

事項	数値
令和5年度(2023年度)の就労定着支援事業の利用者数	35人
令和5年度(2023年度)の就労移行率が八割以上の就労移行支援事業所数	5か所

(5) 障害児支援の提供体制の整備等

- ① 重層的な地域支援体制の構築を目指すための児童発達支援センターの設置
 令和2年に保育所等訪問支援事業を実施し、令和3年に相談支援事業と児童発達支援センターの設置を目指します。
- ② 保育所等訪問支援の充実
 児童発達支援事業所つくし園の理学療法士等を増やすことで支援を充実しています。
- ③ 児童発達支援事業所及び放課後等デイサービス事業所の確保
 沖縄市では、主に重症心身障害児を支援する児童発達支援事業所及び放課後等デイサービス事業所を利用することができます。
- ④ 医療的ケア児支援のための関係機関の協議の場の設置
 医療的ケア児等に関するコーディネーターを令和5年度中に1人の配置を目指します。
- ⑤ 発達障害者等に対する支援

事項	令和5年度 2023年度
パARENTトレーニングやパARENTプログラムの受講者数 ※パARENTトレーニング、パARENTプログラムとは、発達障がい等のこどもを持つ家族が日常生活の困り感を軽くするための考え方や関わり方などを学ぶことができる講座のことです。	8人
パARENTメンターの人数 ※パARENTメンターとは、発達障がいのあるこどもを育てた経験のある親で、同じ親の立場でよき相談相手になれる人のことです。	5人
ピアサポート活動への参加人数 ※ピアサポートとは、同じような立場や経験等を持つ人同士（ピア）の支え合いのことです。	5人

(6) 相談支援体制の充実・強化等

沖縄市基幹相談支援センターを中心に地域の相談支援体制の充実・強化等を図ります。

事項	令和3年度 2021年度	令和4年度 2022年度	令和5年度 2023年度
総合的、専門的な相談支援の実施か所数	5か所	5か所	5か所
相談機関同士の連携強化のための取り組み回数	12回	12回	12回

(7) 障害福祉サービスの質を向上させるための取組

① 質の向上に向けた研修への参加人数の見込み

沖縄県が実施する障害福祉サービス等に係る研修等へ毎年度5人の参加を目標とします。

事項	令和3年度 2021年度	令和4年度 2022年度	令和5年度 2023年度
沖縄県が実施する研修等へ参加する市役所職員の数	5人	5人	5人

② 障害者自立支援審査支払等システムによる審査結果の共有

障害者自立支援審査支払等システムを活用し、令和5年度までに審査結果の共有を行います。

事項	令和5年度 2023年度
障害者自立支援審査支払等システムの審査結果を事業所等と共有する年間回数	1回



2. 障がい福祉サービス等見込み量

(1) 訪問系サービスの見込み量（月あたりの利用者と利用時間）

事項		令和3年度 2021年度	令和4年度 2022年度	令和5年度 2023年度
① 居宅介護	利用者数	455人	479人	505人
	利用時間	11,375時間	11,975時間	12,625時間
② 重度訪問介護	利用者数	24人	25人	26人
	利用時間	6,482時間	6,753時間	7,023時間
③ 行動援護	利用者数	33人	40人	49人
	利用時間	1,406時間	1,704時間	2,087時間
④ 同行援護	利用者数	51人	51人	51人
	利用時間	1,107時間	1,107時間	1,107時間

(2) 日中活動系サービスの見込み量（月あたりの利用者数と利用日数）

事項		令和3年度 2021年度	令和4年度 2022年度	令和5年度 2023年度
① 生活介護	利用者数	485人	498人	512人
	利用日数	9,846日	10,109日	10,394日
② 自立訓練（機能訓練）	利用者数	5人	7人	9人
	利用日数	42日	59日	76日
③ 自立訓練（生活訓練）	利用者数	50人	53人	56人
	利用日数	875日	928日	980日
④ 就労移行支援	利用者数	50人	53人	56人
	利用日数	840日	890日	941日
⑤ 就労継続支援（A型）	利用者数	244人	244人	244人
	利用日数	4,758日	4,758日	4,758日
⑥ 就労継続支援（B型）	利用者数	714人	750人	788人
	利用日数	11,852日	12,450日	13,081日
⑦ 就労定着支援	利用者数	23人	29人	35人
⑧ 療養介護	利用者数	45人	46人	47人
⑨ 短期入所支援 （ショートステイ）	利用者数	132人	139人	146人
	利用日数	801日	845日	889日

(3) 居住系サービスの見込量（月あたりの利用者数）

事項		令和3年度 2021年度	令和4年度 2022年度	令和5年度 2023年度
① 自立生活援助	利用者数	2人	2人	2人
② 共同生活援助 (グループホーム)	利用者数	161人	172人	183人
③ 施設入所支援	利用者数	187人	181人	175人

(4) 相談支援サービス等の見込量（月あたりの利用者数）

事項		令和3年度 2021年度	令和4年度 2022年度	令和5年度 2023年度
① 計画相談支援	利用者数	593人	629人	667人
② 地域移行支援	利用者数	1人	1人	1人
③ 地域定着支援	利用者数	1人	1人	1人

(5) 障がい児サービス見込量（月あたりの利用者と利用日数）

事項		令和3年度 2021年度	令和4年度 2022年度	令和5年度 2023年度
① 児童発達支援	利用者数	259人	290人	325人
	利用日数	2,694日	3,016日	3,380日
② 医療型児童発達支援	利用者数	25人	25人	25人
	利用日数	318日	318日	318日
③ 放課後等デイサービス	利用者数	637人	712人	796人
	利用日数	9,045日	10,110日	11,303日
④ 保育所等訪問支援	利用者数	33人	34人	35人
	利用日数	56日	58日	60日
⑤ 障害児相談支援	利用者数	226人	249人	274人

ちいきせいかつしえんじぎょう みこみりょう
 (6) 地域生活支援事業の見込量

じことう 事項		れいわ ねんど 令和3年度 2021年度	れいわ ねんど 令和4年度 2022年度	れいわ ねんど 令和5年度 2023年度	
①	りかいそくしんけんしゅう けいはつじぎょう 理解促進研修・啓発事業	りようしゅう 利用者数	300人	300人	300人
②	じはつてきかつどうしえんじぎょう 自発的活動支援事業	りようしゅう 利用者数	996人	1,046人	1,098人
③	しょうがいしゃそうだんしえんじぎょう 障害者相談支援事業	じっし しよ 実施か所	5か所	5か所	5か所
	きかんそうだんしえん ・基幹相談支援センター（1カ所）	りようしゅう 利用者数	241人	203人	171人
	じゅうたくにゅうきょとうしえんじぎょう ・住宅入居等支援事業	りようしゅう 利用者数	2人	2人	2人
④	せいねんこうけんせいとりようしえんじぎょう 成年後見制度利用支援事業	りようしゅう 利用者数	11人	12人	13人
⑤	せいねんこうけんせいどほうじんこうけんしえんじぎょう 成年後見制度法人後見支援事業	じっし しよ 実施か所	1か所	1か所	1か所
		りようしゅう 利用者数	24人	24人	24人
⑥-1)	しゅわつうやくしゅ ようやくひつきしゅ はけんじぎょう 手話通訳者・要約筆記者派遣事業	りようしゅう 利用者数	498人	552人	611人
		りようしゅう 利用者数	24人	25人	26人
⑦ じつじょう 日常生活用具給付等事業	かいご くんれんしえんようぐ 1) 介護・訓練支援用具	けんすう 件数	27件	27件	27件
	じりつせいかつしえんようぐ 2) 自立生活支援用具	けんすう 件数	53件	53件	53件
	ざいたくりょうようとうしえんようぐ 3) 在宅療養等支援用具	けんすう 件数	41件	41件	41件
	じょうほう いしそつうしえんようぐ 4) 情報・意思疎通支援用具	けんすう 件数	46件	46件	46件
	はいせつかんりしえんようぐ 5) 排泄管理支援用具	けんすう 件数	3,398件	3,615件	3,845件
	じゅうたくかいしゅう 6) 住宅改修	けんすう 件数	3件	3件	3件
⑧	しゅわほうしんしんようせいけんしゅうじぎょう 手話奉仕員養成研修事業	りようしゅう 利用者数	11人	11人	11人
⑨	いどうしえんじぎょう 移動支援事業	りようしゅう 利用者数	316人	319人	322人
		りようじかん 利用時間	29,247 時間	29,539 時間	29,834 時間
⑩	ちいきかつどうしえん 地域活動支援センター	じっし しよ 実施か所	4か所	5か所	5か所
		りようしゅう 利用者数	302人	367人	403人



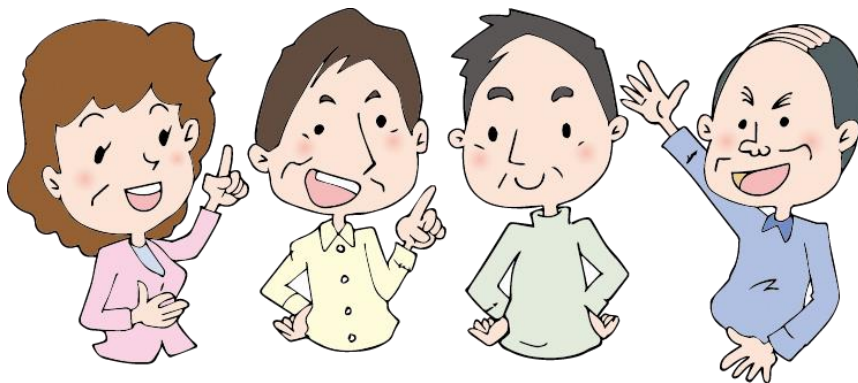
(7) 子ども・子育て支援等における配慮が必要な子どもに対する支援体制

沖縄市で暮らす全ての子どもが健やかに成長するためには、子ども・子育て支援サービスの利用を希望する障がいのある子ども及びその保護者を支援する体制の構築が求められており、その充実を図ります。

障がいのある児童の利用見込み数

事項	令和3年度 2021年度	令和4年度 2022年度	令和5年度 2023年度
保育所	159人	163人	166人
認定こども園	4人	4人	4人
放課後児童健全育成事業	103人	108人	113人
幼稚園	84人	84人	84人
小規模保育事業所・事業所内保育事業所	5人	5人	5人

令和2（2020）年4月1日現在	0歳以上 3歳未満	3歳以上 6歳未満	6歳以上 18歳未満	合計
医療的ケア児の人数	2人	9人	22人	33人

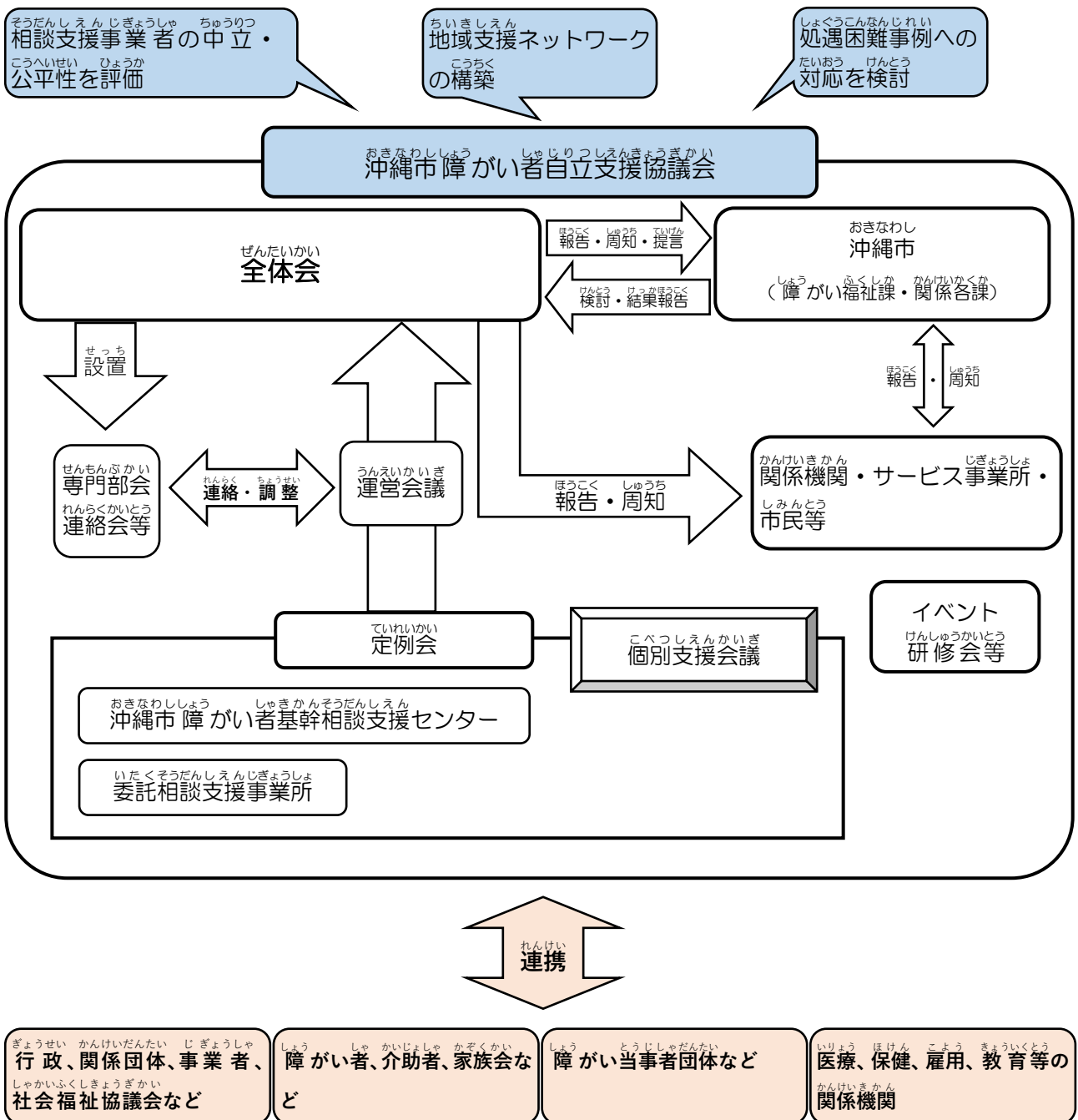


けいかく すいしん 計画の推進にあたって

1. 地域ネットワークの構築と連携による推進体制の充実

障がい者が地域で生活していくために、地域の各支援機関が連携することで多様なニーズに素早く応えていく必要があります。

障がい者が安心して暮らし続けられる地域づくりを進めるため、個別支援会議等を通じて地域課題を整理し、課題別解決策の検討を行います。また取り組みの評価を行いながら計画の推進に取り組みます。



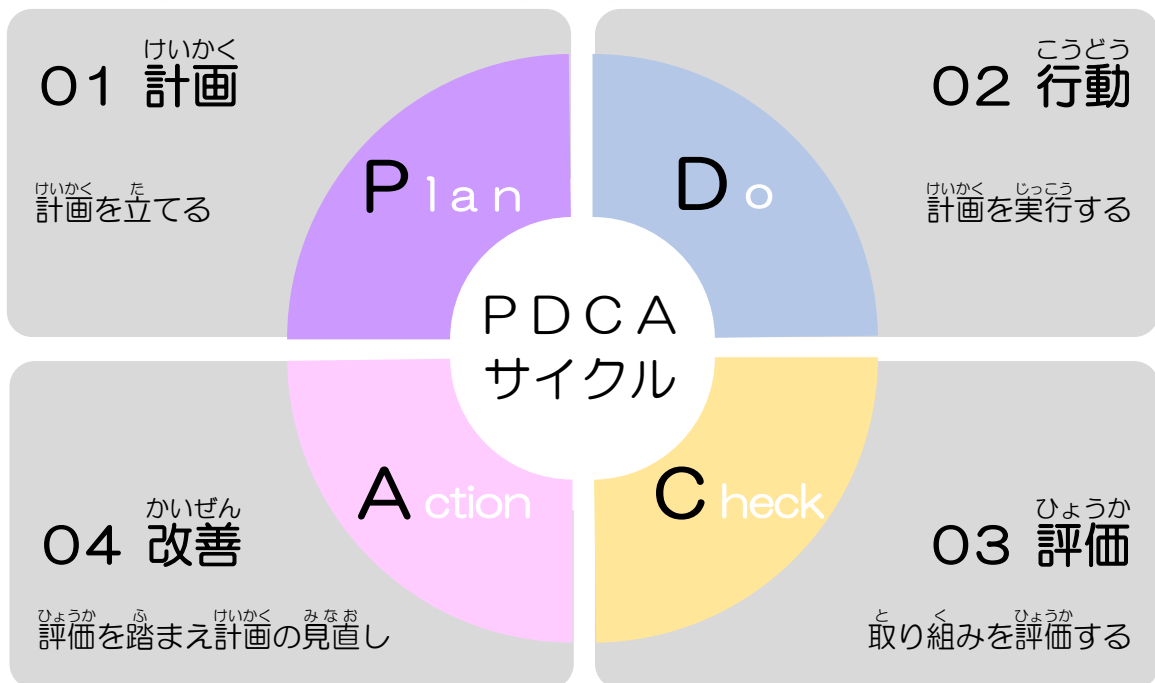
2. 行政機関内でのネットワークの構築と連携、役割分担

健康福祉部各課、就労、教育、まちづくり等にかかる施策や事業を推進していくために、沖縄市役所全体が連携し、計画の推進を図ります。

また、国や沖縄県と連携を図りながら福祉のまちづくりを推進します。

3. 計画の進捗管理

本計画は、PDCAサイクルで進行管理を行います。年度ごとに各施策・事業の進捗状況や現状、課題等を整理し、沖縄市障がい者自立支援協議会に報告します。同協議会において計画全体の進行管理と適切な評価により、取り組みの充実に努めます。



発行年月 令和3年3月

発行 沖縄市 健康福祉部 障がい福祉課

住所：〒904-8501 沖縄県沖縄市仲宗根町26番1号

電話：098-939-1212

